

## 基準 4 学生の受入

### (1) 観点ごとの分析

観点 4-1-1-1 : 教育の目的に沿って、求める学生像や入学者選抜の基本方針等が記載された入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）が明確に定められ、公表、周知されているか。

#### 【観点到る状況】

東北大学の基本理念、教育目的に沿って、東北大学としてのアドミッション・ポリシーを明確に定め、これに基づき、学部、大学院ごとに、より具体的なアドミッション・ポリシーを定めている。

学部のアドミッション・ポリシーについては、各学部の教授会の議を経て、入学試験審議会が定めている。

各学部の具体的なアドミッション・ポリシーを含む大学のアドミッション・ポリシーは毎年7月に公表する入学者選抜要項及びホームページに掲載するとともに、高校、本学志願者、文部科学省、本学海外事務所、本学教員、事務局各課に配布し、周知している。さらに、毎年実施しているオープンキャンパス、高校訪問、高校関係者との懇談会、進学説明会などにおいて説明し、学外関係者への周知を図っている。なお、高等専門学校についても訪問し、周知を図っている。(表 4-1-1-1-1)

大学院（博士課程、修士課程及び専門職学位課程）については、研究科が独自にアドミッション・ポリシーを明文化し、学生募集要項に記載するとともに、ホームページで学内外に公表している。

表 4-1-1-1 入学者受入方針

#### (1) 入学者選抜方針（アドミッション・ポリシー）

<p><b>東北大学の理念</b></p> <p>東北大学は、創立以来の個性的伝統を基礎に、世界のトップクラスの研究大学として、人間性を尊重した科学技術の開発、倫理に根ざした政治経済社会の構築、自然環境との共生という 21 世紀の人間社会の課題に大きく貢献します。</p> <p>そのために、学部と大学院、研究所、その他の組織・施設が一体となって、国際的水準の創造的研究をおこない（知の創造）、これをもとに、社会の指導的・中核的人材となる研究者や職業人を養成し（知の継承）、地域・産業界・国際社会に開かれた大学として知識や技術の社会化に努めます（知の普及）。</p> <p><b>東北大学の特徴</b></p> <p>① 創立以来の個性的な伝統 創立後すぐに「学術研究第一主義」や「門戸開放」、「実用忘れざるの主義」など現代にも通じる個性を確立し、時代に応じてその内容を一層発展させています。</p> <p>② 教育環境に恵まれた総合大学 10 学部、15 研究科、5 附置研究所等を擁し、研究所等のスタッフも教育に参加します（教員約 2,600 人、学部学生入学定員約 2,400 人）。</p> <p>③ 研究大学 国際的な研究成果を多数生み出し、先端的研究と教育を一体的に進める大学であり、学生の過半数が卒業後大学院に進学します。卒業後すぐ職に就く場合も高度な職業人の道が開かれています。</p> <p>④ 積極的な地域連携・産学連携 地域や産業界との間に多様な連携を積極的に発展させています。</p> <p>⑤ 魅力的な所在地 大学の大部分が、杜の都とも学都とも言われる快適な都市仙台の中心部に位置し、便利な都市機能と豊かな自然環境を兼備する環境にあります。</p> <p><b>東北大学が志願者に求める学生像</b></p> <p>東北大学の理念に共感し、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 21 世紀の人間社会の課題に研究者として優れた知的貢献をしようとする学生</li> <li>・ 豊かな学識とリーダーシップを備える高度な職業人として社会に寄与しようとする学生</li> </ul>
---

出典：平成 19 年度入学者選抜要項

#### (2) 学部のアドミッション・ポリシー（例）

**文学部**

人間とその言語や文化，社会や歴史に対して広い関心と強い探求心を持ち，それらに関する堅実な実証的知識を身につけようとする人，そのうえでさらに，自立的かつ批判的な人間理解を追求し，現代社会が直面する様々な課題に積極的に貢献しようとする人を求めています。

そのための能力として，大学入試センター試験では均衡のとれた基礎学力，前期日程試験では文学部の勉学にとって基礎科目となる国語・数学・外国語の学力，後期日程試験では思考力や表現力を評価します。

出典：平成 19 年度入学者選抜要項

(3) Tohoku University 2007 (2007 東北大学総合案内) (高校生向入試広報冊子)

受験生に対する東北大学のセールスポイント，東北大学の使命，ビジョンを明記したものであり，オープンキャンパス参加者，受験希望者等に配付(53,000 部)されている。なお，同案内はデータ化され，本学のホームページにも掲載されている。2007 年版は，次の内容となっている。

- ・東北大学を選ぶ6つのポイント(真理探究の冒険の場，卒業までに大きく成長，世界への扉を開く，開放・自由の気風は今も，各界をリードする卒業生，学都・仙台の恵まれた環境) ・情熱の冒険者たち①・② ・Manabi Road Map
- ・全学教育，附属図書館 ・学部紹介(学びのポイント，進路，履修の流れ，学生インタビュー，Topics) ・大学院，附置研究所 ・国際交流・留学制度 ・就職指導・支援システム ・サークル活動 ・キャンパスマップ ・緑の街・学都仙台
- ・入試データ ・学生生活サポート制度 ・History ・Mission Statement(東北大学の使命)

[http://www.bureau.tohoku.ac.jp/campus\\_guide/index-j.html](http://www.bureau.tohoku.ac.jp/campus_guide/index-j.html)

(4) オープンキャンパス 学部・研究科等別参加者数 (平成 18 年度)

学部・研究科等		7月27日	7月28日	計	参考(H17)
学部	文学部	1,205	1,455	2,660	2,320
	教育学部	1,278	1,034	2,312	1,525
	法学部	1,029	1,045	2,074	1,940
	経済学部	850	1,120	1,970	1,090
	理学部	1,470	1,400	2,870	2,450
	医学部医学科	947	906	1,853	1,315
	医学部保健学科	497	745	1,242	975
	歯学部	203	170	373	351
	薬学部	1,004	1,190	2,194	1,857
	工学部	2,425	2,314	4,739	4,462
	農学部	409	514	923	882
	学部計	11,317	11,893	23,210	19,167
独立研究科等	国際文化研究科	38	19	57	49
	情報科学研究科	92	212	304	247
	環境科学研究科	650	450	1,100	1,870
	教育情報学教育部	61	38	99	312
	情報シナジーセンター	21	81	102	130
	附属図書館	1,405	1,054	2,459	2,581

(5) 高校の要請による入試説明会・出前授業派遣状況 (平成 17 年度)

月日	高校名	名称	派遣学部等
4.28	仙台高校	1日大学授業	農
5.18	一高・二高等進路指導教員対象	東北大学入試説明会 (会場：二高)	入試センター，入試課(計5名)
5.20	仙台第三高校	進路講演会	経済，工
5.27	宇都宮女子高校	模擬授業(大学紹介)	工
6.18	土佐塾高校	入試説明会	理
6.18	水沢高校	スーパーサイエンスハイスクール出前 授業	薬，工
9.1	横手高校	模擬講義	文，理，薬

9.6	高志高校	スーパーサイエンスハイスクール研究 発表会	入試センター(パネラーとして1名)
9.7	五所川原高校	模擬授業(大学紹介)	薬
9.14	寒河江高校	出前講義(大学進学)	文, 工
9.17	長井高校	ミニカレッジ	文, 理
9.20	磐城桜ヶ丘高校	模擬講義	理
9.26	花巻高校	大学を知る講演会	経済, 医, 薬
9.27	安積高校	模擬授業(進路意識)	文, 法, 薬, 工
10.1	函館中部高校	個別進学相談会	不参加(資料送付のみ)
10.1	青森北高校	出前授業(大学体験)	工
10.5	山形東高校	一日総合大学	法, 経済, 薬, 工
10.25	磐城高校	模擬授業(進路実現)	文, 教, 法, 経, 理, 薬, 工
10.26	大船渡高校	一日総合大学	理, 工
10.29	沼津東高校	出張講義	工
10.29	東奥義塾高校	大学模擬講義	情報
10.29	盛岡第一高校	出張講義	文, 理(3名)
11.1	仙台第一高校	学部・学科説明会	シナジー
11.9			文, 工
11.11			法, 経済, 理, 情報
11.18			農
11.18	米沢興譲館高校	興譲館大学講座	法, 工
11.26	菰山高校	大学レクチャー	理
11.26	八戸高校	出張講義	文, 法, 経済, 理, 工(2名), 農
3.7	福島成蹊高校	出前授業	理
3.23	栃木高校	出張講義	文, 理
計	28 高校		延べ70名

(6) 大学見学受入状況(平成17年度)

月日	高校名	学年/参加数	教員	受入学部	特記事項
4.20	磐城高校	1年 320人	12人	理, 薬, 工	
5.12	山梨学院高校	2年 101人	4人	法, 理, 工, 薬	
6.2	郡山高校	2年 41人	2人	薬, 工	
7.4	橘高校	保護者 35人	3人	経済, 図書館	研修旅行
9.2	釜石南高校	保護者 40人	3人	経済, 植物園	PTA研修
10.11	長野高校	2年 80人	2人	医, 工	医, 工志望者全員
10.12	水沢高校	保護者 70人	1人	経済, 構内	PTA研修
10.7	福島南高校	1年 42人	3人	文, 法, 経済	
11.18	(住吉台中)	2年 40人		医, 理, 工, 農	
10.12	盛岡南高校	1年 100人	5人	法, 理, 工	
3.27	楯岡高校	1年 30人	1人	構内散策	

(7) 高校生・保護者対象の東北大学進学説明会

期 日 平成18年7月22日(土) 13:00~17:00				
場 所 学術総合センター(千代田区一ツ橋) 2階中会議場				
参加者 670名(延人数)				
	中会議場1	中会議場2	中会議場3	中会議場4
13:00	医歯薬系【学部講演1】 医学部医学科案内	理工農系【学部講演5】 工学部の入学試験	文系【学部講演8】 「知」の世界へ旅する:文学部	各学部 【個別相談】
13:45	【学部講演2】保健・医 療技術・福祉と保健学科	【学部講演6】理学部の教 育・教育と入学試験の紹介	【学部講演9】教育学部で見 つける! 私のライフワーク	

			-東北大学教育学部 A to Z
14:30	『Z会講演1』入試分析	【学部講演7】農学部概要と入試方法	【学部講演10】法学部での学び方・楽しみ方
15:15	【学部講演3】考える歯科医を目指して	『Z会講演2』入試分析	【学部講演11】東北大学経済学部の紹介
16:00	【学部講演4】健康科学の一翼を担う薬学		『Z会講演3』入試分析

(8) 入試説明会：進路指導教諭対象（平成18年度）

No	開催地	期日	対象地域	参加校数	参加者数	備考（H17実績）
1	青森市	5月26日	東北・北関東	21校	29名	19校24名
2	静岡市	6月2日	静岡県	12校	13名	13校15名
3	秋田市	6月6日	東北・北関東	10校	11名	10校13名
4	郡山市	6月8日	東北・北関東	16校	20名	16校27名
5	山形市	6月9日	東北・北関東	16校	22名	14校22名
6	水戸市	6月15日	東北・北関東	14校	20名	12校16名
7	金沢市	6月16日	北陸3県	10校	10名	10校10名
8	札幌市	6月21日	北海道	17校	20名	12校14名
9	宇都宮市	6月22日	東北・北関東	19校	26名	17校24名
10	盛岡市	6月23日	東北・北関東	14校	19名	20校31名
11	さいたま市	6月28日	南関東4都県	15校	16名	(H17那覇市)4校5名
12	高崎市	6月29日	東北・北関東	14校	18名	13校16名
13	仙台市	6月30日	東北・北関東	43校	48名	36校43名
14	新潟市	7月4日	新潟県	16校	23名	13校19名
15	長野市	7月7日	長野県	5校	8名	8校12名
計				242校	303名	217校 291名

(9) アドミッション・ポリシー掲載ホームページ

学部	<a href="http://www.bureau.tohoku.ac.jp/nyushi/index.html">http://www.bureau.tohoku.ac.jp/nyushi/index.html</a>
入試情報(大学院入試)	<a href="http://www.tohoku.ac.jp/japanese/nyushi/nyushi2-1.html">http://www.tohoku.ac.jp/japanese/nyushi/nyushi2-1.html</a>
文学研究科	<a href="http://www.sal.tohoku.ac.jp/entrance.html#grad">http://www.sal.tohoku.ac.jp/entrance.html#grad</a>
教育学研究科	<a href="http://www.sed.tohoku.ac.jp/grad/07entrance/bo2006-annai.html">http://www.sed.tohoku.ac.jp/grad/07entrance/bo2006-annai.html</a>
法学研究科	<a href="http://www.law.tohoku.ac.jp/admissions/graduate/">http://www.law.tohoku.ac.jp/admissions/graduate/</a>
法科大学院	<a href="http://www.law.tohoku.ac.jp/lawschool/info/gaiyou.html">http://www.law.tohoku.ac.jp/lawschool/info/gaiyou.html</a>
公共政策大学院	<a href="http://www.publicpolicy.law.tohoku.ac.jp/">http://www.publicpolicy.law.tohoku.ac.jp/</a>
経済学研究科	<a href="http://www.econ.tohoku.ac.jp/econ/nyushi/index.html">http://www.econ.tohoku.ac.jp/econ/nyushi/index.html</a>
会計大学院	<a href="http://www.econ.tohoku.ac.jp/econ/kaikei/nyugaku/index.html">http://www.econ.tohoku.ac.jp/econ/kaikei/nyugaku/index.html</a>
理学研究科	<a href="http://www.sci.tohoku.ac.jp/ja/third/daigakuin-nyushi-h19.htm">http://www.sci.tohoku.ac.jp/ja/third/daigakuin-nyushi-h19.htm</a>
医学系研究科	<a href="http://www.med.tohoku.ac.jp/kyomu/bosyu/postgrad/index.html">http://www.med.tohoku.ac.jp/kyomu/bosyu/postgrad/index.html</a>
歯学研究科	<a href="http://www.ddh.tohoku.ac.jp/graduate.html">http://www.ddh.tohoku.ac.jp/graduate.html</a>
薬学研究科	<a href="http://www.pharm.tohoku.ac.jp/general/annai.html">http://www.pharm.tohoku.ac.jp/general/annai.html</a>
工学研究科	<a href="http://www.eng.tohoku.ac.jp/admission/?menu=master">http://www.eng.tohoku.ac.jp/admission/?menu=master</a>
農学研究科	<a href="http://www.agri.tohoku.ac.jp/agri/ent-j.html">http://www.agri.tohoku.ac.jp/agri/ent-j.html</a>
国際文化研究科	<a href="http://www.intcul.tohoku.ac.jp/mas/boshu/gakusei_boshuyoukou.html">http://www.intcul.tohoku.ac.jp/mas/boshu/gakusei_boshuyoukou.html</a>
情報科学研究科	<a href="http://www.is.tohoku.ac.jp/entrance/index.html">http://www.is.tohoku.ac.jp/entrance/index.html</a>
生命科学研究科	<a href="http://www.lifesci.tohoku.ac.jp/exam/index.html">http://www.lifesci.tohoku.ac.jp/exam/index.html</a>
環境科学研究科	<a href="http://www.kankyo.tohoku.ac.jp/nyushi.html">http://www.kankyo.tohoku.ac.jp/nyushi.html</a>
教育情報教育部・研究部	<a href="http://www.ei.tohoku.ac.jp/entrance_ex/menu.html">http://www.ei.tohoku.ac.jp/entrance_ex/menu.html</a>

【分析結果とその根拠理由】

学部学生の入学選抜方針は、東北大学の基本理念・教育目標に沿って定められ、学部の教授会等の議を経て東北大学入学試験審議会が決定している。これらは入学選抜要項、東北大学案内の冊子及び東北大学のホーム

ページに記載され、公表・周知されている。

大学院のアドミッション・ポリシーは各研究科等が独自に明文化し、具体的で特色あるものとなっており、学生募集要項等に掲載し学内外での入試説明会において配付され、ホームページにも公表されている。法科大学院や会計大学院などの専門職大学院については、きめ細やかなアドミッション・ポリシーが作成されている。

これらのことから、東北大学のアドミッション・ポリシーは教育の目的に沿って定められ、公表周知されていると判断する。

**観点 4-2-1： 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）に沿って適切な学生の受入方法が採用されており、実質的に機能しているか。**

**【観点に係る状況】**

学部については、アドミッション・ポリシーに沿って適切な学生を受け入れるために、学部毎に多様な入試方法を採用している。すなわち、一般選抜入学試験（前期日程・後期日程）、アドミッションズ・オフィス入学試験（AO入試）Ⅰ期、Ⅱ期、Ⅲ期、Ⅳ期及び特別選抜入学試験（推薦入学Ⅰ、私費外国人留学生、帰国子女）を実施し、学力試験による選抜に加え、推薦書、調査書、小論文及び面接による選抜を行っている。（表 4-2-1-1）

各研究科等の入学試験では、アドミッション・ポリシーに沿った学生を選抜するため、国内とともに国外への広報活動も行っている。

資料 4-2-1-1 平成 20 年度入学者選抜要項  
<http://www.bureau.tohoku.ac.jp/nyushi/index.html>

表 4-2-1-1 入学者選抜方式一覧（平成 19 年度）

(1) 学部

区分	定員	一般選抜		AO入試				特別選抜		
		前期	後期	Ⅰ期	Ⅱ期	Ⅲ期	Ⅳ期	推薦	帰国	私費
文学部	210	180	30							若干名
教育学部	70	60	10							若干名
法学部	160	120	20		20					若干名
経済学部	260	185	35			40				若干名
理学部	324	224	58		42				若干名	若干名
医学部医学科	100	90				10				若干名
医学部保健学科	144	110	34			10				若干名
歯学部	55	45				10				若干名
薬学部	80	60	10					10		若干名
工学部	810	605		若干名	90	115	若干名		若干名	若干名
農学部	150	125				10		15		若干名
合計	2,363	1,804	197	若干名	152	185	若干名	25	若干名	若干名

出典：平成 19 年度入学者選抜要項

(2) 大学院

研究科等	課程の別	主な試験の種類
文学研究科	前期 2 年の課程	(秋期) 一般選抜 社会人特別選抜 (リフレッシュコース) (春期) 一般選抜 社会人特別選抜 (リフレッシュコース)
	後期 3 年の課程	(秋期) 社会人特別選抜 (研究者コース) (春期) 一般選抜 社会人特別選抜 (研究者コース)

教育学 研究科	前期2年の課程	(第1期・第2期) 一般選抜 社会人特別選抜
	後期3年の課程	一般選抜 (第2期) 社会人特別選抜 (第1期・第2期)
法学 研究科	前期2年の課程	4月入学 一般選抜 外国人特別選抜 (A方式, B方式I (前期), B方式II, B方式I (後期)) 社会人特別選抜 10月入学 外国人特別選抜
	後期3年の課程	4月入学 一般選抜 社会人特別選抜 (専門職業人) 法科大学院修了者 10月入学 一般選抜 社会人特別選抜 (法律行政実務) 新司法試験合格者
	専門職学位課程	法科大学院 一般選抜 公共政策大学院 一般選抜 (追加含む) 社会人特別選抜 (公共政策関係実務)
経済学 研究科	前期2年の課程	4月入学 一般選抜 (第I期・第II期) 外国人特別選抜 社会人特別選抜 飛入学特別選抜 10月入学 一般選抜 外国人特別選抜 社会人特別選抜
	後期3年の課程	4月入学 一般選抜 社会人特別選抜 進学選抜 10月入学 一般選抜 社会人特別選抜 進学選抜
	専門職学位課程	会計大学院 4月入学 一般選抜 (第I期・第II期) 職業人特別選抜 (第I期・第II期) 飛入学特別選抜 10月入学 一般選抜 職業人特別選抜
理学研究科	前期2年の課程	一般選抜 (第2次含む) 飛入学特別選抜 外国人特別選抜 自己推薦
	後期3年の課程	4月入学 一般選抜 社会人特別選抜 外国人特別選抜 10月入学 一般選抜 外国人特別選抜 社会人特別選抜 進学選抜
医学系研究 科	前期2年の課程	一般選抜 飛入学特別選抜 (いずれも第2次含む)
	後期3年の課程	一般選抜
	修士課程	一般選抜 飛入学特別選抜 (いずれも第2次含む)
	博士課程	4月入学 一般選抜 社会人特別選抜 飛入学特別選抜 (いずれも第2次含む) 10月入学 一般選抜 社会人特別選抜 飛入学特別選抜
歯学研究科	修士課程	一般選抜 社会人特別選抜 外国人特別選抜 (いずれも第1次, 第2次あり)
	博士課程	一般選抜 社会人特別選抜 外国人特別選抜 (いずれも第1次, 第2次, 第3次あり)
薬学研究科	前期2年の課程	4月入学 一般選抜 推薦入学試験 外国人特別選抜 10月入学 外国人特別選抜
	後期3年の課程	4月入学 一般選抜 社会人特別選抜 (研究者, 薬剤師) 外国人特別選抜 10月入学 外国人特別選抜
工学研究科	前期2年の課程	4月入学 (秋季) 一般選抜 推薦入学試験 (他大学, 高専等) 飛入学等特別選抜 一般選抜 (第2次) 社会人特別選抜 外国人特別選抜 10月入学 (秋季) 社会人特別選抜, 外国人特別選抜 飛入学等特別選抜
	後期3年の課程	4月入学 (春季) 進学選抜 一般選抜 社会人特別選抜 外国人特別選抜 (春季) 進学選抜 一般選抜 社会人特別選抜 外国人特別選抜 10月入学 (秋季) 一般選抜 社会人特別選抜 外国人特別選抜 進学選抜 (留学生特別コース) 外国人特別選抜
農学研究科	前期2年の課程	一般選抜 社会人特別選抜 (いずれも第1次, 第2次あり)
	後期3年の課程	4月入学 一般選抜 社会人特別選抜 (いずれも第1次, 第2次あり) 10月入学 一般選抜 社会人特別選抜
国際文化研 究科	前期2年の課程	(秋季) 一般選抜 社会人特別選抜 外国人特別選抜 海外出願 (春季) 一般選抜 社会人特別選抜 外国人特別選抜 (第2次募集) 一般選抜 社会人特別選抜 外国人特別選抜
	後期3年の課程	(秋季) 一般選抜 外国人特別選抜 海外出願 (春季) 一般選抜 外国人特別選抜 進学選抜 (第2次募集) 一般選抜 外国人特別選抜 進学選抜
情報科学研 究科	前期2年の課程	4月入学 (上期) 一般選抜 外国人特別選抜 飛入学特別選抜 社会人特別選抜 (下期) 一般選抜 外国人特別選抜 飛入学特別選抜 社会人特別選抜 推薦入学特別選抜 (他大学, 高専等) 10月入学 一般選抜 外国人特別選抜 飛入学等特別選抜 社会人特別選抜
	後期3年の課程	4月入学 進学選抜 一般選抜 外国人特別選抜 社会人特別選抜 10月入学 進学選抜 一般選抜 外国人特別選抜 社会人特別選抜
生命科学研 究科	前期2年の課程	一般選抜 飛入学特別選抜 社会人特別選抜 帰国子女特別選抜 外国人特別選抜 (第I期・第II期)
	後期3年の課程	一般選抜 外国人特別選抜 社会人特別選抜
環境科学研 究科	前期2年の課程	4月入学 (秋季) 一般選抜 推薦入学特別選抜 (他大学, 高専等) (ユニット) 一般選抜 外国人特別選抜 社会人特別選抜

		(春季) 一般選抜 社会人特別選抜 外国人特別選抜 飛入学等特別選抜 10月入学 飛入学等特別選抜 社会人特別選抜 外国人特別選抜 「ヒューマン・セキュリティと環境」特別プログラム
	後期3年の課程	4月入学 (秋季) 進学選抜 一般選抜 社会人特別選抜 外国人特別選抜 (春季) 進学選抜 一般選抜 社会人特別選抜 外国人特別選抜 10月入学 進学選抜 一般選抜 社会人特別選抜 外国人特別選抜 (ユニット) 進学選抜 一般選抜 社会人特別選抜 外国人特別選抜 「ヒューマン・セキュリティと環境」特別プログラム
教育情報学 教育部	前期2年の課程	4月入学 一般選抜 社会人特別選抜 外国人特別選抜 推薦入学特別選抜 (いずれも第一期, 第二期及び追加あり) 10月入学 一般選抜 社会人特別選抜 外国人特別選抜
	後期3年の課程	4月入学 一般選抜 社会人特別選抜 外国人特別選抜 (いずれも第一期, 第二期あり) 10月入学 一般選抜 社会人特別選抜 外国人特別選抜

教育・学生支援部調べ

【分析結果とその根拠理由】

学部, 大学院とも本学の教育目的, アドミッション・ポリシーに沿って適切な入学者選抜方法が採用され, 実質的に機能していると判断する。

観点4-2-2: 入学者受入方針(アドミッション・ポリシー)において, 留学生, 社会人, 編入学生の受入等に関する基本方針を示している場合には, これに応じた適切な対応が講じられているか。

【観点に係る状況】

本学では, アドミッション・ポリシーにおいて, 留学生, 社会人, 編入学生の受け入れ等に関する基本方針を明確化し, それぞれに応じた選抜を実施している。

学部入試では, 一般選抜入学試験とは別に, 私費外国人留学生特別選抜, AO入試I期(社会人対象), AO入試IV期(外国の教育課程修了者対象)及び編入学試験を実施している。(表4-2-2-1)

大学院入試では, 各研究科等において, 一般選抜入学試験とは別に, 外国人留学生特別選抜, 社会人特別選抜を実施している。(前掲表4-2-1-1(2))

表4-2-2-1 学部留学生, 社会人, 編入学生の選抜実施状況(平成19年度)

留学生	私費外国人留学生特別選抜, AO入試IV期(工学部)	
社会人	AO入試I期(工学部)	
編入学	文学部	専門科目, 口述試問, 第1外国語, 第2外国語等
	教育学部	論文, 外国語, 口述
	経済学部	1次 英語, 経済学・経営学の基礎問題, 小論文 2次 面接
	理学部	数学, 英語, 物理, 化学, 生物から1~2科目, 面接
	医学部 保健学科	英語, 専攻の専門科目, 面接
	工学部	(学士) 数学, 物理, 化学, 英語, 面接(学科により異なる) (高専, 帰国子女, 外国人) 数学, 物理, 化学, 英語, 専門科目, 面接, 日本語(帰, 外)

教育・学生支援部調べ

【分析結果とその根拠理由】

留学生, 社会人, 編入学生の受入については, 東北大学アドミッション・ポリシー及び各学部・研究科等のアドミッション・ポリシーに基づいて, 一般選抜とは別に志願者の特徴や多様な経験を考慮し, 適切な選抜方式により実施している。

以上のことから, 留学生, 社会人, 編入学生の受入に関して, 適切な対応が講じられていると判断する。

観点 4-2-3 : 実際の入学者選抜が適切な実施体制により、公正に実施されているか。

【観点到に係る状況】

学部学生の入学者選抜を実施するために、学部長・研究科長等を構成員とする入学試験審議会が設置されている。また、入学試験審議会の下には、入試企画・広報委員会及び入試実施委員会の二つの委員会と入学試験実施本部が置かれている。

入学試験問題の作成は、試験実施教科・科目に関する教育研究経験を有する教員が担当しており、入学試験問題作成ハンドブックを作成し、適正な実施に努めている。また、試験監督方法等は入学試験実施要領として統一的に定めており、公正な試験が実施できるようにしている。

試験当日は、入学試験実施要領に基づき学部長を責任者とする入学試験実施部を設置し、公平・公正で、かつミスの生じない体制で実施しており、入学試験合否判定は、各学部の教授会の議を経て、入学者選抜会議が行う。

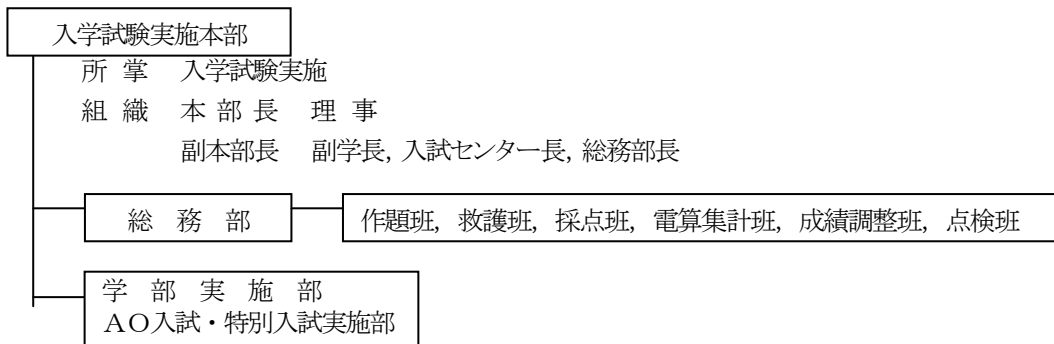
大学院の入学者選抜も、各研究科等に入試実施委員会を設置し、学部と同様の実施体制の下で入学者選抜を実施し、公正な実施を図っている。(表 4-2-3-1)

表 4-2-3-1 入試実施体制

(1) 入学試験実施組織図	
(入学試験審議会規程による組織)	
入学試験審議会	<p>所 掌 学部及び大学院の入学者選抜, 大学入試センター試験の実施 , 入学試験の制度, 入試センターの運営, その他入学試験に関する事項</p> <p>組 織 委 員 長 総長が指名する理事又は副学長</p> <p>副委員長 委員長が指名する委員</p> <p>委 員 各学部長, 各研究科長・教育部長, 附置研究所長(東北アジア研究センター長を含む。)の代表1人, 高等教育開発推進センター長, 入試センター長, 入試実施委員会委員長・副委員長</p>
入試企画・広報委員会	<p>所 掌 入学者の選抜方法及び入学試験の広報に関する事項の調査・研究及び企画</p> <p>組 織 委 員 長 入試センター長</p> <p>副委員長 委員の互選</p> <p>委 員 高等教育開発推進センター入試開発室の教授及び准教授, 入試実施委員会委員長・副委員長, 総長が指名する本学の教授及び准教授 若干人</p>
入試実施委員会	<p>所 掌 一般選抜入学試験, アドミッションズ・オフィス入学試験及び特別選抜入学試験並びに大学入試センター試験に関する事項の企画及び実施</p> <p>組 織 委 員 長 委員の互選</p> <p>副委員長 委員の互選</p> <p>委 員 各学部, 各研究科・教育部の教授又は准教授各1人, 附置研究所(東北アジア研究センターを含む。)の教授又は准教授2人, 保健管理センター所長, 高等教育開発推進センター入試開発室の教授又は准教授1人, 入試企画・広報委員会委員長・副委員長</p>



(入学試験実施本部内規による組織・入学試験審議会の下に設置)



(2) 入学試験審議会規程(抜粋)

第2条 審議会は、次に掲げる事項について審議する。

- 一 学部及び大学院の入学者選抜に関する事項
- 二 大学入試センター試験の実施に関する事項
- 三 入学試験の制度に関する事項
- 四 高等教育開発推進センター入試センターの運営に関する事項
- 五 その他入学試験に関する事項

第8条 審議会に、入学者の選抜方法及び入学試験の広報に関する事項を調査・研究し、及び企画させるため、入試企画・広報委員会を置く。

第14条 審議会に、一般選抜入学試験、アドミッションズ・オフィス入学試験及び特別選抜入学試験並びに大学入試センター試験に関する事項を企画し、及び実施させるため、入試実施委員会を置く。

[http://www.bureau.tohoku.ac.jp/kitei-etsuran/reiki\\_honbun/au10116391.html](http://www.bureau.tohoku.ac.jp/kitei-etsuran/reiki_honbun/au10116391.html)

(3) 入学試験実施要領(東北大学入学試験実施本部作成・目次のみ)

この実施要領は、一般選抜学力試験における業務を中心に、その細目について定めたものです。  
 学部実施部における事前の準備業務、当日の業務等については、この要領に基づき、万全を期して実施するようお願いいたします。  
 なお、この実施要領により難しい場合は、入学試験実施本部と協議することとします。

**学部実施部が担当する業務**

1. 事前の業務 2. 試験実施当日の業務 (1)点検事項 (2)交通機関の事故又は災害等の場合の措置  
 (3)受験票の取扱い 3. 試験場設営及び撤去業務

**入学試験実施業務担当者配置基準** ・ **入試における不測の事態対応マニュアル**

**監督要領**

1. はじめに 2. 試験実施時刻表 3. 監督実施方法 4. 教科(科目)別発言事項等 5. 参考(1)問題冊子, 解答用紙の種類及び枚数一覧 (2)学部別試験実施時刻一覧 (3)欠席者調, 答案表紙, 受験票 (4)学部別受験記号番号及び試験場一覧 (5)受験者の皆さんへ(受験者周知事項) (6)受験票 (7)試験場・試験室等配置図

**その他**

1. 各種様式等 (1)欠席状況一覧表(2)大学入試センター試験受験票不携帯者名簿等 (3)配付物点検表(例) (4)入学試験実施業務担当者出勤簿 (5)試験場本部板書(例) 2. 一般選抜以外の入学試験実施要領(例)

**AO入試・推薦入学実施方法**

1. 学生募集要項・出願書類等 2. 選抜方法 3. 評価・判定・報告

**合格者決定プロセス**

1. 合格者決定プロセス(第1段階選抜・第1次選考を含む。) 2. 合格候補者報告様式

【分析結果とその根拠理由】

学部の入学者選抜に係る実施計画等の作成，試験問題の作成，試験の実施，答案の採点及び合格者決定までの業務は，入学試験審議会が一元的に企画・実施している。

これらのことから，入学者選抜が適切な実施体制により，公正に実施されていると判断する。

大学院入試においても，各研究科等が学部入試同様の体制により実施していることから，公正に実施されていると判断する。

**観点 4-2-4： 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）に沿った学生の受入が実際に行われているかどうかを検証するための取組が行われており，その結果を入学者選抜の改善に役立っているか。**

【観点に係る状況】

入学試験審議会の下に設置されている入試企画・広報委員会には，各種のワーキンググループが設置されており，入学者選抜方法の改善に関連する事項の調査研究，入学者選抜に関する広報，入試情報の公開に関することなどを検討し，毎年度作成する「東北大学入学者選抜方針」に反映させている。

また，入試企画・広報委員会は，入学試験の結果，入学後の学業成績追跡調査，高校教諭・高専教員との意見交換等を踏まえて，入学者選抜に関する検証及び改善を行っている。さらに，各学部も入試検討委員会等を設置し，入学した学生の追跡調査等を行い，選抜方法の改善に取り組んでいる。（表 4-2-4-1）

大学院の入学者選抜方法の改善・検証については，大学全体として取組（大学院入試の適正な実施体制，実態調査・分析等）が行われており，研究科は独自の取組（入試の成績，入学後の成績，学籍異動，進路等）を行っている。

表 4-2-4-1 入試改革

(1)入試企画・広報委員会開催状況(平成 18 年度)	
期日	主な議題
4月 10 日 (月)	平成 18 年度入試企画・広報委員会の審議日程 広報活動(1)オープンキャンパス実施要領(案) (2)大学案内 (3)入試説明会 平成 19 年度入学者選抜方針 平成 20 年度入学者選抜方針(案) ワーキンググループの設置
5月 16 日 (火)	平成 19 年度入学者選抜方針及びアドミッション・ポリシー 平成 20 年度入学者選抜方針(案) オープンキャンパス 大学院入学志願時における健康診断書の取扱 広報活動 全国大学入学者選抜研究連絡協議会の開催 平成 17 年度入学者追跡調査 その他
6月 20 日 (火)	平成 19 年度入学者選抜方針(定員確保方針) 平成 20 年度入学者選抜方針(大学入試センター試験の本学配点及び第2次試験の配点変更) 試験場責任者・監督者等配置基準及び試験場責任者・監督者等の注意事項見直 入学試験業務担当者配置基準(案) 入試における不測の事態の予防及び発生した場合の対応マニュアル(案) 広報活動(オープンキャンパス・本学主催「高校生・保護者対象の東北大学進学説明会」 全国大学入学者選抜研究連絡協議会
7月 18 日 (火)	入学試験業務担当者(責任者・監督者等)配置基準の見直し 大学院入試における健康診断書の取扱平成 21 年度入試以降の入学者選抜実施体制 外国語の試験科目(平成 21 年度入試からの取扱いに向けて) 平成 19 年度国立大学入学者選抜についての各大学における入試業務上の留意点(案)の作成 国立大学の入学者選抜についての平成 20 年度実施細目の改正 「東北大学進学説明会 in 東京」 東京大学主催「主要大学説明会」オープンキャンパス
9月 5 日 (火)	試験場責任者・監督者等配置基準の見直 平成 20 年度入学者選抜方針(案) 広報活動(オープンキャンパス参加者数・広報WG視察結果報告・オープンキャンパス部局アンケート結果・「東北大学進学説明会 in 東京」実施報告・参加者アンケート結果・参加教員・学生に対するアンケート結果・東北大学案内 2008・「主要大学説明会」 「平成 19 年度国立大学入学者選抜についての各大学における入試業務上の留意点(案)作成・東北大学学部通則改正案 「国立大学の入学者選抜についての平成 20 年度実施細目」の改正 国立大学入学者選抜制度の当面する課題・大学入試センター「大学入試センター試験の改善に関する懇談会－意見のまとめ－

	(案)・国大協入試委員会作業委員会「国立大学のアドミッション・ポリシー確立の必要性とその方向(メモ)」平成18年度AOⅣ期入学者選抜試験結果 参考文献の配付(「新教育課程における東北大学の入試と教育接続 ―主に情報・理科及び入試広報の観点から―」「戦後大学入学者選抜制度の変遷と東北大学のAO入試」「後期日程入試の廃止問題に対する高校教員の意見構造」)
10月3日 (火)	試験場責任者・監督者等配置基準の見直し 平成20年度入学者選抜方針(案) 平成20年度東北大学入学者選抜方針(案)の主な変更点等 ・「平成20年度東北大学入学者選抜方針」の作成に際して(提案) 平成21年度以降の入試に関する検討事項 東北大学案内2008 「平成18年度入学試験に関する調査(1)・(2)」
11月14日 (火)	平成20年度入学者選抜方針(案) 平成21年度入学者選抜方針(案) 受験及び修学上の特別な配慮を必要とする入学志願者の取扱 成績調整WG 中間報告
2月9日 (金)	平成21年度入学者選抜方針(案) 入試過去問題の活用 レタックス廃止に伴う可否通知等の代替措置 AO入試出願書類の様式統一 AO入試・推薦入学Ⅰにおける調査書の取扱 平成18年度入試企画・広報委員会報告・引継ぎ事項(案) 平成19年度新入学者対象アンケート 平成19年度AO入試Ⅱ期及び推薦入学Ⅰの選抜結果 平成19年度AO入試Ⅲ期及び特別選抜(私費外国人留学生・帰国子女)入学試験の出願状況 平成19年度一般選抜入学試験の出願状況 入試ミス(法科大学院, 医学系研究科) WG報告(成績調整WG, 広報WG) 作題班員(理科教科長)と成績調整WGとの協議会 オープンキャンパス・大学案内 国大協における平成22年度以降の入学者選抜方法等に関する検討状況
(2)東北大学年度計画(抜粋)	
15 アドミッションセンターを中心に、高校以下の教育の状況、教育課程の変化等に対応できるように入学者選抜にかかわるデータベースの整備を進め、選抜方法区分による入学者の状況を平成17年度の開始を目標に毎年入学者の5%程度について適宜追跡調査し、分析する。	
18年度計画	平成18年度入学者の5%程度を抽出して追跡調査を行い、結果をデータベースに蓄積し、適宜分析する。
18年度実施内容	教務情報システムのデータを利用し、平成17年度東北大学学部全入学者の追跡調査報告書を取りまとめ、平成18年5月開催の入試企画・広報委員会等に分析結果を含めて報告した。また、平成18年度入学者の追跡調査を開始した。
18 国内外から、多様な資質、多様な学習歴を持つ学生を選抜するために、博士課程前期2年の課程(修士課程)、後期3年の課程(博士課程)の選抜方法を検討するとともに、合否判定の一層の客観性、公平性の確保できるように、入学基準を明確にする。	
18年度計画	入学者・編入学者・進学者の中から5%程度を抽出して追跡調査を行い、その結果に基づいて選抜試験実施体制を点検する。
18年度実施内容	入試センターにおいて研究科等の入学試験実施要領、合否判定基準等について調査を行い、整備が不十分な研究科等には改善すべき事項を指摘し、早急な見直しを求めた。複数の研究科の平成17年度入学者の約1割を抽出し、追跡調査を開始した。

教育・学生支援部調べ

【分析結果とその根拠理由】

学士課程の入学者選抜については、入試企画・広報委員会が、入学者選抜に関係する各種実施方針の改善を図っており、本学の基本理念、目的に沿った入学者選抜の検証及び改善の取組が行われている。

大学院課程の入学者選抜に関する検証・改善についても取組が行われている。

以上のことから、入学者受入方針(アドミッション・ポリシー)に沿った学生の受入が実際に行われているかどうかを検証するための取組が行われており、その結果を入学者選抜の改善に役立てていると判断する。

**観点4-3-1: 実入学者数が、入学定員を大幅に超える、又は大幅に下回る状況になっていないか。また、その場合には、これを改善するための取組が行われるなど、入学定員と実入学者数との関係の適正化が図られているか。**

【観点に係る状況】

本学における実入学者数は、入学定員を大幅に超えたり、又は大幅に下回る状況にはない。(表4-3-1-1) 入学定員に対する実入学者割合は、平成18年度において、学部全体では106.9%、大学院では、修士課程が110.1%、博士課程が、66.4%、専門職学位課程では93.5%となっている。

後期3年の課程の実入学者については、入学定員を若干下回ってはいるものの、大学院全体としては適正な教育研究の指導体制となっている。

なお、入学手続き者が入学定員に満たない場合には、学部学生については追加合格を行って入学者を確保し、大学院学生については2次募集を実施している。

表4-3-1-1 入学定員充足状況

	18年度			17年度			16年度		
	定員A	入学者B	B/A(%)	定員A	入学者B	B/A(%)	定員A	入学者B	B/A(%)
学部全体	2,363	2,525	106.9	2,363	2,532	107.2	2,363	2,494	105.5
修士課程	1,618	1,782	110.1	1,618	1,785	110.3	1,634	1,785	109.2
博士課程	906	602	66.4	906	679	74.9	919	742	80.7
専門職学位課程	170	159	93.5	170	161	94.7	130	129	99.2

教育・学生支援部調べ

## 【分析結果とその根拠理由】

表4-3-1-1に示されるように、入学者数が入学定員を大幅に超えたり、又は大幅に下回る状況にはない。以上のことから、入学定員に対する実入学者数は適正であると判断する。

## (2) 優れた点及び改善を要する点

## 【優れた点】

東北大学としての共通のアドミッション・ポリシーの下に、学部・研究科等ごとのアドミッション・ポリシーを定め、大学案内、学生募集要項、ホームページ等に掲載して公表するとともに、大学が一体となって入試広報活動に努めており、入試実施体制も整備されている。

また、学部・大学院とも多種類の入試制度を採用し、多様な学習歴を持った学生を幅広く受け入れていることが優れている。

入学者数が入学定員を大幅に超える、又は大幅に下回る状況にはなく、実入学者は、学部、大学院とも全体としては入学定員をほぼ充足している。

## 【改善を要する点】

なし

## (3) 基準4の自己評価の概要

東北大学の基本理念、教育目的に沿って全学共通のアドミッション・ポリシーが明確に定められているとともに、これに基づき、学部、大学院、それぞれの課程ごとに、より具体的なアドミッション・ポリシーが定められている。

各学部の具体的なアドミッション・ポリシーを含む大学のアドミッション・ポリシーは、毎年7月に公表する入学者選抜要領、ホームページ等より周知されている。

各学部・大学院は、アドミッション・ポリシーに沿って適切な学生を受け入れるために、多様な入試方法を採用している。

学部学生の受入では、一般選抜入学試験の他に、アドミッションズ・オフィス入学試験（AO入試）のⅠ期、Ⅱ期、Ⅲ期、Ⅳ期、特別選抜（推薦入学Ⅰ、私費外国人留学生、帰国子女）を実施し、学力試験による選抜に加

え、推薦書、調査書、小論文及び面接による選抜を行っている。

さらに、文学部、教育学部、経済学部、理学部、医学部保健学科、工学部では編入学試験を実施し、多様な資質を有する者の受入れによる活性化を図っている。

大学院学生の受入では、一般選抜入学試験の他に、推薦入学、社会人特別選抜、外国人留学生特別選抜を行っている。

学部学生の入学者選抜については、試験問題の作成から合格者の決定まで、入学試験審議会の下に実施組織を構築し、また、大学院学生の入学者選抜実施については、各研究科の入試実施委員会が学部入試同様の体制で実施しており、意思決定のプロセス及び責任体制も明確であり、公正な入学者選抜ができる実施体制となっている。

入学手続き者が入学定員に満たない場合には、学部学生については追加合格を行って入学定員を確保し、大学院学生については2次募集を実施しており、学部、大学院の実入学者数は、入学定員を大幅に超えたり、又は大幅に下回る状況にはなく、適正である。